

令和8年10月吉日

関係者各位

函館市医療・介護連携推進協議会
連携ルール作業部会退院支援分科会
分科会長 福島 久美子

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、函館市医療・介護連携推進協議会 連携ルール作業部会 退院支援分科会と函館市医療・介護連携支援センター並びにほくと・ななえ医療・介護連携支援センターでは、入退院支援に関わる皆様を対象に、下記のとおりの研修会を開催いたします。

本研修では、入退院支援において、本人・家族を中心に支援するそれぞれの立場や環境、見ている場面の違いから生じる「ズレ」に気づき、互いの考えや状況を理解し、すり合わせることを通じて、本人が望む生活につながる連携について考える機会とします。今年度は、グループワークの内容や発表内容にも工夫を加え、入退院支援の場面をより具体的にイメージしながら考えていただける内容としております。

ぜひお誘い合わせの上ご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

「令和8年度 入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」

【日 時】令和8年11月18日（水）18：30～20：00

【場 所】函館医療センター 新棟大会議室（住所：函館市川原町18番16号）

【対 象】函館市・北斗市・七飯町

医療関係（MSW、入退院支援看護師、病院看護師、リハビリスタッフなど）

在宅関係（包括職員、居宅ケアマネジャー、訪問看護師、リハビリスタッフなど）

施設関係（施設相談員、施設ケアマネジャー、施設看護師、リハビリスタッフ、介護職員など）

薬剤師、歯科衛生士、栄養士等

函館市障がい関係者

*入退院支援に関心のある方は、どなたでも参加可能です。

【定 員】60名ほど

【内 容】

テーマ：その人のイメージ、ズレてない？

～気づいた。すり合わせた。さあ、次は？～

① 発表「ズレとは何か？」

～入院から退院までの間の医療、介護間のイメージのズレについて～

発表者：北海道MSW協会南支部 医療相談員 岩城 朋美 様

② グループワーク

自分たちの現場にある「ズレ」を出し合い、本人の望む生活に向けて、どうすり合わせていくかを考える。

【申し込み方法】

別紙案内チラシまたは函館市医療・介護連携支援センターホームページからお申込みください。

【問い合わせ先】

函館市医療・介護連携支援センター 担当：近藤

電話：43-3939 FAX：43-1199 E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

『入退院支援連携強化研修会（ガイド編）』
その人のイメージ，ズれてない？
～気づいた。すり合わせた。さあ，次は？～



同じ「その人」なのに，
見る人やいる場所，見ている場面が変わると，
見えてくるものが変わる。
そんな「ズレ」，ありませんか？



日 時：令和8年11月18日（水）18：30～20：00

場 所：函館医療センター 新棟大会議室
（住所：函館市川原町18番16号）

参加対象：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者

医療関係（MSW，入退院支援看護師，病院看護師，リハビリスタッフなど）

在宅関係（包括職員，居宅ケアマネジャー，訪問看護師，リハビリスタッフなど）

施設関係（施設相談員，施設ケアマネジャー，施設看護師，リハビリスタッフ，
介護職員など）

薬剤師，歯科衛生士，栄養士等

函館市 障がい福祉関係者

*入退院支援に関心のある方は，どなたでも参加可能です。

【申し込み】

- ・申し込み Google フォーム
- ・申し込み二次元コード ⇒
⇒<https://qr.paps.jp/mH5pO>



*各職種がバランス良くご参加いただけるように，職種ごとの参加人数調整をさせていただきます。定員に達した場合は，締め切りを早める場合もございます。ご了承くださいますようお願い申し上げます。

締め切り：令和8年11月11日（水）

*参加される方には，事前に資料などをメールにて配信する予定です。研修2日前までに資料がきていない等がありましたら，下記【問い合わせ先】までご連絡ください。



その人のイメージ，思っていたのと違う！？

そのイメージのズレは何か？

皆で，ざっくばらんに話し合いましょう！

問い合わせ先：函館市医療・介護連携支援センター 担当：近藤
電話：43-3939 FAX：43-1199